

夏の思い出出ウオーク 近江高島から北小松

7月20日、「探訪」近江水の宝「湖西明神崎をゆくー白鬚神社」を滋賀県教育委員会と共催で高島町観光ボランティア協会の協力のもと実施しました。約60人の参加があり、JR近江高島駅からJR北小松駅までの間を歩きながら文化財を探訪しました。

はじめに大溝城天守台跡を訪ねました。この城は、天正6年(1578)に織田信長の甥である信澄が築城しました。今は、天



大溝城天守台跡

守台跡と推定二の丸跡・三の丸跡を残し、水城であった面影を一部留めています。まさに、古城そのものの佇まいです。
次に、乙女ヶ池周辺の万葉歌碑二基、風景と共に北陸道を観察しました。

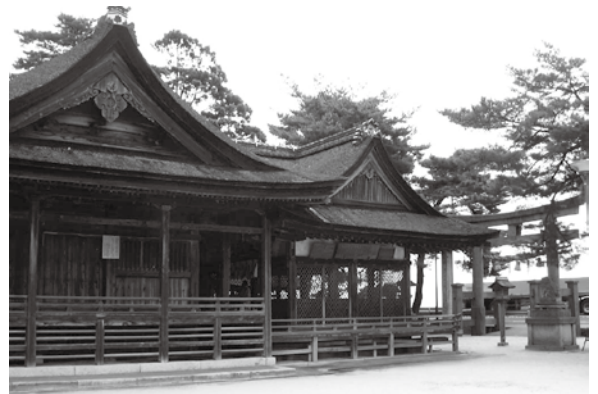
「大船の香取の海に 礎おろし
如何なる人か 物思はざらむ」
巻十一―2436

「何処にか 舟乗りしけむ 高島の
香取の浦ゆ 漕ぎ出来る船」
巻七―1172

そして古道の傍らのくさ地蔵と磨崖仏を拝んで、蓮如上人ゆかり



乙女ヶ池周辺の万葉歌碑



白鬚神社 (本殿は国の重要文化財に指定)

の最勝寺に立ち寄りしました。最勝寺をあとに、五世紀代の人骨が出土した打下古墳に立ち湖北の湖を遠望して、鵜川四十八体石仏を経て、目指す白鬚神社へと向かいました。

白鬚神社は、古い由緒を持ち総社としての風格があります。現在の本殿は豊臣秀吉の遺命により、秀頼が慶長8年(1603)に再建したもので、境内には他にも多くの文化財が所在します。

白鬚神社から南に進んで、鵜川の棚田に感心しながら、西近江路の難所のひとつであった鑑岩を過ぎて、霊験あらたかな岩除地蔵さんで一休みさせていただき、旧江



岩除地蔵

若鉄道跡を歩み、JR北小松駅に到着しました。
この探訪コースは、比良山と琵琶湖が織り成す風光明媚な、お薦めコースです。この秋の9月5・6日の白鬚神社秋季大祭の行事にあわせて探訪されてはいかがでしょうかでしょう。

高島歴史民俗資料館
(36) 1553



編集感 8月のはじめ、今津町の農家 成宮さんから、通常の2倍の大きさのイチジクが実ったとの情報をいただきました。高島市は、昨年の大津市場への出荷が県産の約65%を占める県内有数のイチジクの産地です。明るい話題で勢いになってほしいですね。▼今号の特集は、介護について。認知症の1人歩きの調査結果等を掲載しています。敬老の日を前に認知症や介護の理解を深めてみてはいかがでしょうか。(S)



広報たかしま

平成25年

9

月号
No.164

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

〒505-1030 滋賀県高島市新旭町北畑5の番地

☎0740(25)8000(代)

http://www.city.takashima.shiga.jp
t:info@city.takashima.shiga.jp

